

平成 26 年度滋賀県がん対策推進イベント

がんになっても安心して働くことができる
滋賀県をめざして

実施報告書



滋賀県健康づくりキャラクター しがのハグ&クミ

滋賀県がん対策推進イベント実行委員会

**「滋賀県がん対策推進イベントーがんになっても安心して働くことができる
滋賀県をめざして」実施報告書の発刊にあたって**

昨年度に引き続き、今年度は、平成27年2月8日に草津クリアホールで、「滋賀県がん対策推進イベント」を実施し、450名という多くの県民の皆様にご参加いただきました。また、今年度はイベント以外でもがんについて考える機会を作ろうと、絵てがみ教室の開催や、「がんと闘う人々を応援する絵てがみ作品」の募集を行いました。各種事業にご協力、ご参加いただいた関係各位、県民の皆様にご心よりお礼申し上げます。

さて、平成25年12月に施行された、「滋賀県がん対策の推進に関する条例」において、2月4日から10日を「滋賀県がん向き合う週間」と定めることが提言されました。昨年度の「滋賀県がん向き合う週間」には十分な準備期間がありませんでしたので、今年度が条例施行後はじめての本格的な週間への取組みとなりました。そこで、関係団体がそれぞれに活動するのではなく、系統的な取組みを実施したいと考え、関係団体と調整した結果、今年度はがん診療連携協議会が実施する、「滋賀県がん医療フォーラム」と同時開催という方法をとることと致しました。

催しは1日の長丁場となりましたが、盛りだくさんの内容で実施することができました。県民、がん患者とその家族、医療関係者、行政、事業所など、参加者がそれぞれの立場でがんについて、また、がん患者を支える社会の仕組みについて考え、感じていただくことがあったのではないかと思います。この機会を契機として、参加していただいたそれぞれの方の生活の充実と、滋賀県のがん対策の推進につながることを願っております。

最後になりましたが、このイベントの趣旨に賛同し、ご支援とご協力をいただきました、後援団体や協賛団体をはじめ、関係機関の皆様にご深く感謝申し上げますとともに、今後の活動につきましても末永いご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

平成27年3月

滋賀県がん対策推進イベント実行委員会
委員長 越 智 眞 一

目次

実施内容	1
1) 絵てがみ教室	2
2) がんと闘う人々を応援する絵てがみ作品募集	2
3) プレイイベント	3
4) 滋賀県がん対策推進イベント	
①プログラム	4
②ブース出展団体および内容	5
③特別講演「新たないのちを自分らしく生きる」	6
④がんと闘う人々を応援する絵てがみ表彰式	7
⑤創作落語「ガンタペール」	8
⑥絵てがみ教室	9
⑦がん相談	9
⑧がん検診	9
⑨アンケート結果	10
後援団体	13
物品および役務等提供企業・団体	13
協賛団体	14
実行委員・企画委員	15

実 施 内 容

1) 絵てがみ教室

日 時：平成26年11月9日（日） 14：00～16：00

場 所：草津市さわやか保健センター

講 師：中溝裕子さん

参加者：親子参加計19名

内 容： 参加者募集は、大津市・草津市・守山市・栗東市の教育委員会と草津市を通じて各小中学校、公民館等へチラシを配布し、FAXにて申込みを受付けた。

当日は6つのテーブルに分かれて、講師の中溝裕子さんから絵てがみの書き方について説明を受けた後、大切な人に宛てた絵てがみと、がんと闘う人々を応援する絵てがみ募集に応募する絵てがみの2種類を作成した。

また、教室の様子はNHKの「おうみ発610」で放送され、がんと闘う人々を応援する絵てがみ作品募集についても情報提供があった。



2) がんと闘う人々を応援する絵てがみ作品募集

募集期間：平成26年9月1日（月）～平成26年12月1日（月）

テーマ：「がんの予防」、「がんの早期発見」、「がん医療の充実」「がんと闘う人々への応援」「がんになっても自分らしく生きられる社会づくり」を題材としたもの。

応募区分、応募資格

一般の部：滋賀県内在住、在勤(在学)の15歳以上の方

子どもの部：滋賀県内在住、在学の小学生、中学生

応募数：一般の部 42作品、子どもの部 105作品

選 考：中溝裕子さんの助言も得て、滋賀県がん対策推進イベント実行委員が選考を実施した。

3) プレイベント

日 時：平成27年1月10日（土）14：00～16：10

場 所：イオンモール草津 レイクサイド北入口

内 容：①ハグ&クミ着ぐるみと風船を使用した集客

②「滋賀県がん対策推進条例」および「滋賀県がんと向き合う週間」周知のためのリーフレット、チラシ、ティッシュの配布(600部)

③滋賀県がん対策推進イベント周知のためのチラシの配布（600部）

④イベント参加予約の受付

⑤①～④の様子をNHK「おうみ発610」びわ湖放送「キラりん滋賀」で放送し、イベントの開催を周知



4) 滋賀県がん対策推進イベント

①プログラム

日時：平成27年2月8日（日） 10時～16時

場所：草津クリアホール

ホール

- 10：00 開会
滋賀県がん対策推進イベント実行委員会構成団体代表
滋賀県知事 三日月 大造
開会宣言
滋賀県がん対策推進イベント実行委員会
副委員長 菊井 津多子
- 10：10 特別講演「新たないのちを自分らしく生きる」
講師：滋賀県出身プロゴルファー 中溝 裕子さん
- 11：10 表彰式 がんと闘う人々を応援する絵てがみ表彰式
がんと闘う人々を応援する絵てがみ受賞者の皆様
プレゼンター：滋賀県健康医療福祉部長 多胡 豊章
中溝 裕子さん
- 11：40 創作落語「ガンタペール」
落語家：森乃 福郎さん
- 12：10 昼食休憩

ホワイエ

【10：00～16：00】

がん啓発展示ブース（情報紹介、闘病グッズ展示）
軽食やおみやげ、書籍の販売

展示ホール

【10：00～16：00】

がんと闘う人々を応援する絵てがみ作品展示

【13：00～15：30】

絵てがみ教室 講師：中溝 裕子さん

練習室2、3

【10：00～12：00】 がん相談

【13：00～15：30】 がん検診

・乳がん検診

・大腸がん検診

②ブース出展団体および内容

団体名・機関名	内容
滋賀県がん診療連携協議会	がんに関するパンフレット等の展示 / がん相談
草津市健康増進課	食育バランスボール / がん検診受診率パネルの展示とがん検診受診勧奨
県内保健所	たばこの害についての展示
カイゲンファーマ株式会社	健康ドリンク、バリウム、風邪薬等見本の展示
滋賀県立成人病センター疾病・介護予防推進室	がんに関する資料を配布
東京海上日動火災保険株式会社	乳がん視触診モデル展示 / がん治療関連情報チラシとピンクリボン運動ティッシュ配布
アフラック	がんを知る展 / がんに関する資料の配布
公益社団法人滋賀県臨床検査技師会	がん細胞パネル展示、顕微鏡等によるがん細胞観察 / 検査関係資料の配布
公益社団法人滋賀県放射線技師会	乳がん検診(マンモグラフィ)に関するパネル展示、マンモグラフィ(X線写真)の展示
社会医療法人誠光会草津総合病院	パネル・パンフレットによりがんの早期発見方法の説明
堀井薬品工業株式会社	大腸がん検診を受けられる方へ (ポスター、小冊子による説明)
中外製薬株式会社	患者さん向けがんの冊子、高額医療費制度案内冊子の配布
公益社団法人滋賀県栄養士会	闘病者、介護者の方のお悩みに管理栄養士がアドバイス
一般社団法人滋賀県歯科衛生士会	口腔ケアパンフレットを配布し、歯科衛生士がお悩みにアドバイス
公益社団法人滋賀県理学療法士会	がんのリハビリテーションについてポスター展示、パンフレット配布
一般社団法人滋賀県作業療法士会	冊子、ポスターによる作業療法についての情報提供とアドバイス
社会医療法人誠光会草津総合病院	専門看護師が患者さんを支える方のお悩みにアドバイス
大津赤十字病院地域医療連携課	がん診療連携拠点病院 大津赤十字病院の活動紹介
株式会社スヴェンソン京都サロン	医療用ウイッグ、帽子、ネイルケア用品等を展示
公益財団法人日本骨髄バンク	パネル展示、パンフレット配布による骨髄バンクについての情報提供
社会福祉法人若竹会ワークステーションわかたけ	パン、コーヒー、菓子類の販売
びわこみみの里	バームクーヘン、クッキー類、縫製品の販売



③特別講演「新たないのちを自分らしく生きる」

講師：滋賀県出身プロゴルファー 中溝 裕子さん



【要旨】

私は、白血病の一種である骨髄異形成症候群という病気になり、骨髄移植を妹から受けています。ですから私には2つの誕生日があります。

元気いっぱいの私が白血病になるなんて思いもしませんでした。ゴルフのプロテストにトップ合格し、これからという時に10万人に1人の病気になり、私が何か悪いことをしたのか…と思いました。それでも私は妹に命をつないでもらいましたが、ドナーが見つからず、命を落としていく、10人や20人ではない数の仲間を私は見送ってきました。ですから、一人でも多くの人に「骨髄バンク」を知ってほしいと思っています。

それから、私は骨髄移植後、拒絶反応をおこしました。今はこうして水も飲めますが、骨髄移植から3か月経った頃、水を飲んでいて「痛ッ」と思いました。口中に口内炎ができたような感じで、皮がめくれて一切口から物を食べられなくなりました。3年続くと言われました。1日840kcalの点滴を入れるのですが、点滴では体が温まらず、お腹に物が入らなければ声も出ません。

母が作ってくれたおかゆを少しだけ食べたとき、背中が温かくなって、じわっと汗が出ました。母と抱き合っ泣きました。うれしかった。点滴で、命はつなげるけれど、口から物を入れることがどれだけのエネルギーになるかということをこの入院で勉強しました。食べることは生きること。食べ物から命をいただいているのですから、食に対する感謝の気持ちを忘れず、美味しくいただきたいと思っています。

もうひとつ、私は入院中、叔母から勧められて、見よう見まねで絵てがみを書くようになりました。書いていると次から次へと言葉がおりてきて、自分を励ますつもりで、前向きな気持ちを書き続けました。ある日、看護師さんが絵てがみを病棟に貼りだしてくれて、それを見た患者さんやお母さんが涙を流して喜んでいたという話を聞き、誰かの勇気になれる喜びを感じました。ゴルフで拍手をもらうのは気持ちがいいけど、自分の喜び。また違うものでした。

入院中いろんな人から元気をいただき、支えてもらいました。今度は自分が支え、元気をつなげたいと思い、命の尊さと、生きること、食べることを伝えています。

今、ここにおられるがんと闘っておられる皆様も、笑顔を輝かせ、前向きに自分らしく生きてください。

④がんと闘う人々を応援する絵てがみ表彰式



がんと闘う人々を応援する絵てがみ応募作品のうち、各賞を受賞された皆様に、滋賀県知事表彰（賞状）と賞金、記念品が、多胡滋賀県健康医療福祉部長と中溝裕子さんから手渡された。

最優秀賞



優秀賞



【金賞】

一般の部

井上久子さん
大橋勝さん
奥村喜代さん
高田婦美子さん
福井よし枝さん

子どもの部

稲葉保奈美さん
上田彩加さん
鍵本大輝さん
村田樹里さん
山村あいさん

【銀賞】

一般の部

伊藤正江さん
亀井芳子さん
小寺牧子さん
辻はるみさん
野冽令子さん

子どもの部

石川花香さん
木村莉依那さん
児島成哉さん
濱口奏さん
福原新之介さん

【銅賞】

一般の部

西川哲也さん
平塚玲奈さん
三橋妙子さん
宮崎正子さん
村上美子さん

子どもの部

居原田あゆさん
笠松夕莉さん
久原葉さん
宮嶋薫さん
宮本有菜さん

⑤創作落語「ガンタベール」

落語家：森乃 福郎さん



出囃子とともに高座に上がられ、枕で落語に出てくる昔のいい加減な医者の話や京都の古い習慣で笑いを誘い、京都検定を受けるために勉強したという博学や幼少期の体験を披露されたあと、創作落語「ガンタベール」を熱演された。

【あらすじ】

がんが治る病気となった近未来のお話。

「私の寿命はあとどれくらい？」と患者が聞くと、「あなたのがんはよくもってあと2～3日」ですと医者。体中のがん細胞を食べつくしてくれるという透明の熱帯魚「ガンタベール」の入ったコップを患者に手渡す。

手渡された、（ガンタベールの入った）水を飲んで、患者は眠る。すると、ガンタベールの親方が、配下のガンタベールと滑稽な掛け合いを繰り広げながら、体の隅々にまで仲間を行きわたらせる。ガンタベールたちはお腹いっぱいがん細胞を食べつくす。

翌朝患者が目を覚ますと、吐き気も痛みもすっかりよくなり、元気になっている。おへそに向かってお礼をいうと、がん細胞の食べすぎでお腹がパンパン！胃薬を飲んでくださいなとガンタベール。「で、いつ飲めばええんですか？」「今でしょ。」。



⑥絵てがみ教室

特別講演で講師を務めていただいた中溝裕子さんを講師に、ご応募いただいた絵てがみ作品を展示した展示ホールで、絵てがみに囲まれながら、絵てがみ教室を開催した。参加者は16名。

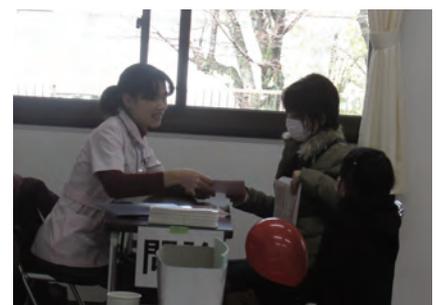


⑦がん相談

がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターの相談員が、事前申し込みのあった方1名の相談に応じた。

⑧がん検診

事前に申し込みのあった方を対象に、滋賀県健康づくり財団の職員が無料のがん検診を実施した。受診者数は、大腸がん検診20名、乳がん検診22名であった。



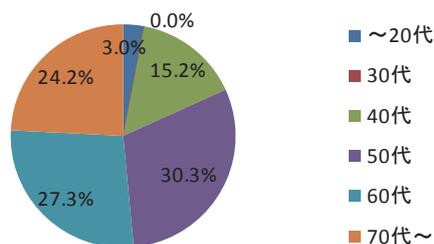
⑨アンケート結果

「平成26年度 滋賀県がん対策推進イベント」アンケート結果

- ◆調査日 平成27年2月8日(日)
- ◆調査方法 滋賀県がん対策推進イベントの出席者に受付で抄録とともに手渡し、終了時に回収
- ◆対象者 滋賀県がん対策推進イベント参加者

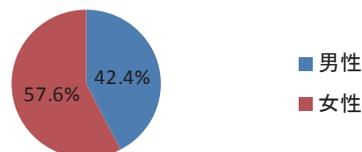
1. あなたの年齢をお伺いします

項目	実数(人)	割合
～20代	1	3.0%
30代	0	0.0%
40代	5	15.2%
50代	10	30.3%
60代	9	27.3%
70代～	8	24.2%
合計	33	100.0%



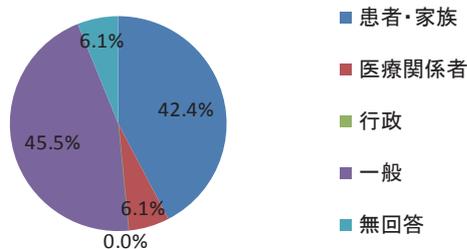
2. あなたの性別をお伺いします

項目	実数(人)	割合
男性	14	42.4%
女性	19	57.6%
合計	33	100.0%



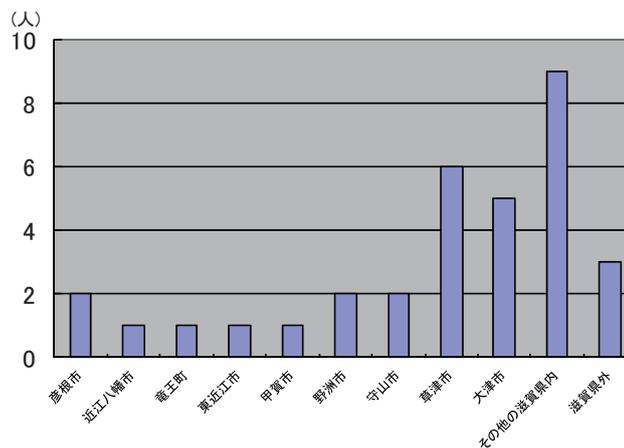
3. あなたは (患者・家族 医療関係者 行政 一般)

項目	実数(人)	割合
患者・家族	14	42.4%
医療関係者	2	6.1%
行政	0	0.0%
一般	15	45.5%
無回答	2	6.1%
合計	33	100.0%



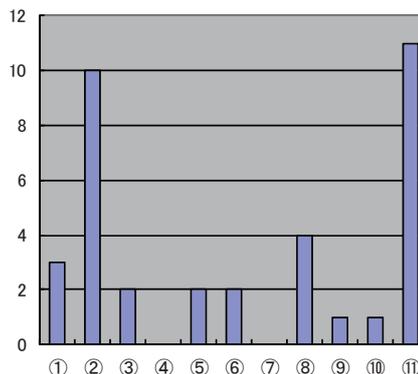
4. どちらにお住まいですか？

項目	実数(人)	割合
彦根市	2	6.1%
近江八幡市	1	3.0%
竜王町	1	3.0%
東近江市	1	3.0%
甲賀市	1	3.0%
野洲市	2	6.1%
守山市	2	6.1%
草津市	6	18.2%
大津市	5	15.2%
その他の滋賀県内	9	27.3%
滋賀県外	3	9.1%
合計	33	100.0%



5. この「がんイベント」を知ったきっかけは何ですか(複数回答有)

項目	実数(人)	割合
①ポスターをみて	3	8.3%
②置いてあった案内チラシをみて	10	27.8%
③リビング滋賀の配布チラシをみて	2	5.6%
④街頭で配布されたチラシをみて	0	0.0%
⑤健康づくり財団のホームページをみて	2	5.6%
⑥テレビ放送をみて	2	5.6%
⑦FMラジオをきいて	0	0.0%
⑧「県政プラスワン」の記事を見て	4	11.1%
⑨「リビング滋賀」の記事を見て	1	2.8%
⑩「ロトス」の記事を見て	1	2.8%
⑪その他	11	30.6%
合計	36	100.0%



<「①」の具体的記載>

- ・ファミリーマート

<「②」の具体的記載>

- ・病院(成人病センター、甲賀病院内がんサークル、近江八幡市立医療センター)
- ・草津市役所、市民センター、野洲市の図書館
- ・職場にて 他

<「⑥」の具体的記載>

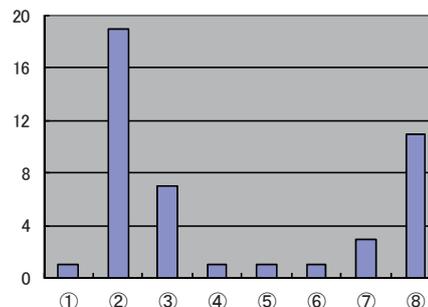
- ・NHKニュース

<「⑪」の具体的記載>

- ・家族・親戚、友人・知人から ・関係者(県職員、患者会、健康推進員等)から
- ・滋賀報知新聞
- ・メール(topic@pref.shiga)より
- ・成人病センターホームページ
- ・あけぼの滋賀、がんサロン

6. 今回の「がんイベント」で一番よかった催しを教えてください。(複数回答有)

項目	実数(人)	割合
①知事のあいさつ	1	2.3%
②中溝裕子さん講演	19	43.2%
③森乃福郎さん創作落語	7	15.9%
④表彰式	1	2.3%
⑤がん検診	1	2.3%
⑥がんフォーラム	1	2.3%
⑦ブース展示・絵てがみ展示	3	6.8%
⑧無回答	11	25.0%
合計	44	100.0%



<「②中溝裕子さん講演」の具体的記載>

- ・講演と絵てがみがすごくよかったです
- ・ドナーを受けるだけでも大変なのにその後の身体を回復するのも大変だと思いました
- ・周囲の支えが大事。自分のできることは何か。
- ・治療経験者としての想いが伝わってきた
- ・日本骨髄バンクの必要性と認識が高まりました
- ・食べることの大切さを絵てがみと合わせて話し、日々感謝しないといけないと改めて感じた
- ・絵てがみもあたたかく感じられて書いてみたいと思いました
- ・ご自身の闘病体験をご自身の言葉で語って下さったこと、貴重な経験でした。ありがとうございます。
- ・白血病の恐ろしさと同時に骨髄ドナーの大切さを知りました。食べられることのありがたさ。
- ・中溝さんのお話聞いて気持ちの持ち方が大事と思い、
がんの方に何をしてあげられるのか、もっともっと考えなくてはいけない。
- ・長期治療を克服し、今新たに活躍されている中溝さんのお話と活動、よかったです。

<その他、具体的記載>

- ・知事の宣言⇔県のやる気が出ている
- ・ほっとできる落語を聞いた
- ・がん検診参加があること
- ・各ブース展示がより身近に感じられた
- ・絵てがみでは自分だけ悩んでないで人と人との結びつきが大事と感じた。

7. 今後の「がんイベント」で取り上げて欲しい内容があれば、ご自由にお書きください。

- ・地域の連携の実情
- ・がん予防はできるか
- ・がん予防の正しい知識や工夫に焦点をあててほしい。
- ・「がん」にならない生活習慣についてより詳しく知りたいです
- ・治療法をどういう風を選んだらよいか参考になる話など
- ・親類関係が患者になった時に「がん」の事を考えるが、毎日の生活の中では気づく事がない。意識の上で時々気付かせるため、広報誌やポスターなどニュースを多く知らせてほしい。
- ・楽しめるようなイベントがあれば家族や知人を誘えるのでそのような催物を考えてもらいたい
- ・近江八幡市ではこのような企画があるのでしょうか？企画があるならお知らせ願います。
- ・毎回参加させていただきますので、主催者に一任します

後援団体

一般社団法人滋賀県病院協会 ・ 一般社団法人滋賀県歯科医師会

一般社団法人滋賀県薬剤師会 ・ 公益社団法人滋賀県看護協会

公益社団法人滋賀県放射線技師会 ・ 公益社団法人滋賀県臨床検査技師会

公益社団法人滋賀県理学療法士会 ・ 一般社団法人滋賀県作業療法士会

公益社団法人滋賀県栄養士会 ・ 一般社団法人滋賀県歯科衛生士会

滋賀県健康推進員団体連絡協議会 ・ 滋賀県保険者協議会

独立行政法人労働者健康福祉機構滋賀産業保健総合支援センター

滋賀労働局 ・ 滋賀県市長会 ・ 滋賀県町村会 ・ 滋賀県教育委員会

一般社団法人草津栗東医師会 ・ 草津市

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団

物品および役務等提供企業・団体

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 ・ 滋賀県がん診療連携協議会

アフラック・中外製薬株式会社 ・ 草津市観光物産協会

日本放送協会 ・ びわ湖放送株式会社

京都新聞社 ・ 中日新聞社 ・ 毎日新聞社

株式会社えふえむ草津

協賛団体

大原薬品工業株式会社 ・ 一般社団法人生命保険協会滋賀県協会

ニプロ株式会社 ・ 一般社団法人滋賀県医師会

東京海上日動火災保険株式会社 ・ 滋賀県民共済生活協同組合

日本電気硝子株式会社 ・ 株式会社メディック

ホロジックジャパン株式会社 ・ 株式会社近畿予防医学研究所

カイゲンファーマ株式会社 ・ 堀井薬品工業株式会社

伏見製薬株式会社 ・ 東芝メディカルシステムズ株式会社

一般社団法人草津栗東医師会 ・ 医療法人幸生会琵琶湖中央病院

一般財団法人近江愛隣園今津病院 ・ 社会医療法人誠光会草津総合病院

一般財団法人滋賀保健研究センター ・ 株式会社スヴェンソン

滋賀県医師協同組合 ・ エヌ・ティ・メディカル

栄研化学株式会社 ・ 一般社団法人京都微生物研究所

医療法人社団仁生会甲南病院 ・ 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院

医療法人社団昂会 ・ 医療法人社団阿星会甲西リハビリ病院

医療法人社団せき川外科 ・ 公益社団法人滋賀県理学療法士会

草津商工会議所 ・ 株式会社光ビルサービス

滋賀県がん対策推進イベント実行委員会委員

	氏 名	所属団体
実行委員長	越智 眞一	一般社団法人滋賀県医師会
実行委員	菊井 津多子	滋賀県がん患者団体連絡協議会
実行委員	中山 初子	滋賀県がん患者団体連絡協議会
実行委員	鈴木 孝世	滋賀県がん診療連携協議会
実行委員	大杉 成聖	びわ湖放送株式会社
実行委員	武久 晋治	日本放送協会
実行委員	立川 智章	アフラック
実行委員	永瀬 裕史	東京海上日動火災保険株式会社
実行委員	徳田 由晃	株式会社滋賀銀行
実行委員	多胡 豊章	滋賀県
実行委員	那須 安穂	公益財団法人滋賀県健康づくり財団
企画委員	樋上 雅一	草津栗東医師会
企画委員	信岡 良典	東京海上日動火災保険株式会社
企画委員	嶋田 宏之	滋賀県がん診療連携協議会
企画委員	井上 昌子	草津市健康増進課
企画委員	嶋村 清志	滋賀県健康医療福祉部健康医療課
企画委員	高須 緑	滋賀県南部健康福祉事務所（草津保健所）
企画委員	吉川 隆一	公益財団法人滋賀県健康づくり財団

滋賀県がん対策推進イベント実行委員会事務局
 公益財団法人滋賀県健康づくり財団（日本対がん協会滋賀県支部）内
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜四丁目4-5
 TEL：077(525)2733 FAX：077(521)0471
 E-mail：info@kenkou-shiga.or.jp

平成26年度滋賀県がん対策推進イベント
がんになっても安心して働くことができる
滋賀県をめざして
実施報告書
平成27年3月発行

滋賀県がん対策推進イベント実行委員会
〒520-0801
滋賀県大津市におの浜四丁目4番5号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団
(日本対がん協会滋賀県支部)内
TEL:077 (525) 2733
FAX:077 (521) 0471
URL:<http://www.kenkou-shiga.or.jp>

*この実施報告書は、滋賀県HPおよび上記財団HPよりダウンロードが可能です